

2005年4月15日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治  
 コード番号 8233

## 2005年3月度 高島屋営業報告

2004年6月にレストラン街の運営を東神開発㈱に移管した立川店の前年数値を調整し、岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋・高崎高島屋の分社4店を含めた18店計の売上高を前年対比の実質数値として表記しています。

### 【総計】(前年対比、単位：%)

本年	実質
6.2	+0.4

百貨店事業の売上高は前年実績を下回ったが、広域事業(法人事業・通販事業)の好調な売上の結果、高島屋総計の実質売上高は前年を上回った(前年対比+0.4%)。

### 【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

本年	実質
8.3	1.2

月前半からの気温低下の影響等で春物衣料などの季節商材の動きが鈍く、後半に売上挽回を図る各種営業施策を実施。実質ベースでは、関東地区合計が前年を0.6%上回ったが関西地区合計は3.9%と苦戦し、18店計では前年を1.2%下回る結果となった。

### 【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	3.2	5.8	9.5	+7.0	6.4	3.1
入店客数	1.1	3.9	8.6	3.1	22.8	9.1

関西地区合計	
本年	実質
15.5	3.9

大阪店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+13.8	4.7	0.4	+2.4	3.9	12.8	4.9	+9.4
入店客数	+6.1	4.3	2.9	0.5	3.3	10.6	1.9	1.8

関東地区合計	
本年	実質
3.4	+0.6

横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

立川店の売上高:実質 0.6%

関西地区では、大阪店はリニューアルオープンした食料品が好調な一方で婦人服・特選衣料雑貨が苦戦し、前年実績を下回った。京都店も婦人服の不振や競合店の影響を受けた特選衣料雑貨の不調により前年実績に達しなかった。一方、岡山高島屋は各種営業施策やリニューアル効果により前年実績を上回った。関東地区ではリニューアル効果を発揮した東京店、玉川店、高崎高島屋の3店が前年実績を上回った。一方、横浜店では宝飾品・リビング・食料品が順調であったが、衣料品や競合店の影響を受けた婦人雑貨は不調であった。新宿店はホワイトデー関連商品を揃えた婦人雑貨・食料品が堅調に推移したが、婦人服の不振により僅かに前年を下回った。

### 【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域計
売上高	+36.0	+2.5	+23.0

法人事業は企業制服等の大型物件の売上計上によって前年実績を大きく上回った。通販事業は、春企画(2/22発行)が55年記念企画商品等の好調もあり、ファッション・リビングともに順調に推移した結果、前年を上回る実績となった。

### 【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	本年	実質
紳士服・洋品	11.4	5.1
婦人服・洋品	14.0	7.1
子供服・洋品	17.4	10.7
その他衣料品	17.2	6.6
衣料品計	14.1	7.1

	本年	実質
身のまわり品	5.8	0.0
家具	13.8	9.8
家電	+57.9	+59.0
その他家庭用品	+13.5	+19.3
家庭用品計	+7.8	+12.7

	本年	実質
食料品	3.3	+3.3
食堂・喫茶	5.7	+5.8
雑貨	+4.3	+11.1
サービス	+8.3	+10.9
その他	10.5	6.5
合計	6.2	+0.4

気温低下の影響等を受ける中で衣料品[婦人服(前年対比 9.0%)、子供服(同 8.2%)、紳士服(同 3.9%)]は全体的に低調な推移であった。特選衣料雑貨は、関西地区計(前年対比 13.5%)では前年を大きく割り込んだものの、東京店が全体を引き上げた結果、合計では同 2.9%であった。ホワイトデーの関連商品としてはハンカチやアクセサリ等の婦人雑貨の商品群は低迷したが、洋菓子等の食料品ギフト商品は順調であった。